

交野市
橋梁長寿命化修繕計画

令和4年11月
交野市 道路河川課

目次

長寿命化修繕計画更新の背景と目的	1
長寿命化修繕計画の策定	2
(1) 計画対象施設	3
(2) 計画期間	3
(3) 優先度評価の考え方	3
(4) 個別施設の状態等	7
(5) 対策内容と実施時期	8
(6) 対策費用	14
(7) 計画の策定	15
(8) 今後の取組	15
<参考資料 表 6 優先度評価該当表（第二評価）>	
<参考資料 表 7 個別施設の状態等>	
<参考資料 年号・西暦対照表>	

長寿命化修繕計画更新の背景と目的

交野市が管理している橋梁は平成 31 年 2 月現在で 138 橋（橋長 2m 以上）となります。これらの橋梁は前回計画策定時から毎年確実に補修を実施しております。しかしながら、平成 27～29 年に実施された近接目視による定期点検結果では約 30 橋の橋梁が要対策判定（早期措置段階）と診断されており、いまだ対策が必要な橋梁が残っていることも確かです。これらの橋梁の補修を実施するとともに今後その他の橋梁の健全性低下や高度経済成長期に架設された橋梁の架け替えなどが必要となり維持管理負担が増加していきます。限られた予算の中で、安全・安心に道路を利用できる状態を維持するために、計画的な維持管理を実施していくことが求められている。

表 対象橋梁

構造形式	RC	PC	BOX	鋼橋	石橋	合計
橋長 15m 以上	0 橋	2 橋	0 橋	2 橋	0 橋	4 橋
橋長 15m 未満	94 橋	16 橋	21 橋	2 橋	1 橋	134 橋
合計	94 橋	18 橋	21 橋	4 橋	1 橋	138 橋

表 点検・補修履歴

年度	点検橋梁	補修橋梁
H26	0 橋	4 橋
H27	1 橋	4 橋
H28	137 橋	2 橋
H29	1 橋	3 橋
H30	0 橋	4 橋
合計	139 橋	17 橋

※（うち 1 橋は 2m 未満計画対象外）

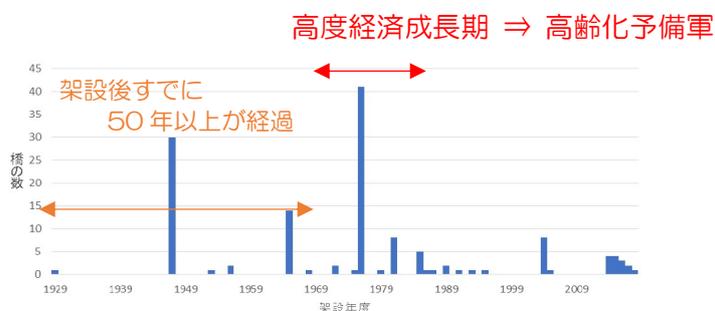


図 架設年度

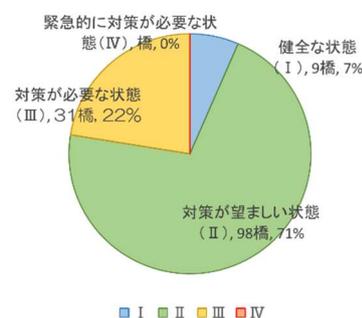


図 健全度

※平成 30 年度橋梁長寿命化修繕計画で架設年度を推定した結果も含めた統計です。

長寿命化修繕計画の策定

交野市が管理している橋梁 138 橋（橋長 2m 以上）を対象として長寿命化修繕計画を策定する。ただし、限られた予算で対策を実施するため、投資可能な予算の設定や、優先度評価の実施などが必要となる。

また、国土交通省が平成 25 年 11 月に公表した「インフラ長寿命化基本計画」においては、下記のとおり記載することを求めている。本市の計画においても、これらの項目に関して趣旨を理解した上で適切に記載することを基本とする。

表 1 個別施設毎の長寿命化計画への記載事項として定められた項目

項目	計画で定められた記載事項（ <u>要記載事項：判断基準として活用</u> ）
対象施設	行動計画において、 <u>個別施設計画を策定することとした施設</u> を対象とする。計画の策定に当たっては、各施設の維持管理・更新等に係る取組状況や利用状況等に鑑み、個別施設のメンテナンスサイクルを計画的に実行する上で <u>最も効率的・効果的と考えられる計画策定の単位（例えば、事業毎の分類（道路、下水道等）や、構造物毎の分類（橋梁、トンネル、管路等）等）を設定の上、その単位毎に計画を策定する。</u>
計画期間	インフラの状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、 <u>定期点検サイクル等を考慮の上</u> 計画期間を設定し、 <u>点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新するものとする。</u> 本基本計画で示す取組を通じ、知見やノウハウの蓄積を進め、 <u>計画期間の長期化を図ること</u> で、 <u>中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上</u> を図る。
対策の優先順位の考え方	個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、 <u>当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化する。</u>
個別施設の状態等	<u>点検・診断によって得られた個別施設の状態について、施設毎に整理する。</u> なお、 <u>点検・診断を未実施の施設については、点検実施時期を明記する。</u> また、「IV. 2. ③対策の優先順位の考え方」で明らかにした事項のうち、 <u>個別施設の状態以外の事項について、必要な情報を整理する。</u>
対策内容と実施時期	「IV. 2 ③対策の優先順位の考え方」及び「IV. 2. ④個別施設の状態等」を踏まえ、 <u>次回の点検・診断や修繕・更新、さらには、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設毎に整理する。</u>
対策費用	<u>計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。</u>

(1) 計画対象施設

対象となる施設は、交野市が平成 31 年 2 月現在で管理する橋梁 138 橋とする。

(2) 計画期間

計画期間は短期計画 10 年間と中長期計画 50 年を設定し、それぞれの期間での費用と健全性の推移を比較する。

A. 短期計画

短期計画は、修繕だけではなく維持や点検も対象とした計画とする必要がある。また、その他の道路施設（舗装など）との関連性も考慮しておく事が望ましい。このため、点検頻度・その他施設の計画期間を考慮して 10 年の期間とし、必要に応じて 3 年・5 年を切り出して活用するなど対応できるものとする。

B. 中長期計画

中長期計画は、進行する老朽化に伴い今後発生する事が懸念される更新費用の割合が多くを占める事が想定される。このため、更新費用を含むような計画期間とする事が望ましく、橋梁の寿命以上の年数となる 50 年を計画期間とする。

(3) 優先度評価の考え方

対策は、健全度の低いものを対象に実施することが基本となる。しかしながら、それぞれの橋梁の架設環境などによって、その橋梁の位置づけが異なり、老朽化により通行止めになるリスクの大小も異なることが想定される。

このため、健全性と重要性に関わる指標を用いた優先度評価を実施することを基本とする。

A. 優先度評価に活用する指標の設定

優先度評価を実施するにあたり、どの指標で評価するかを明確にする。

健全性は診断区分を適用し、重要性は緊急輸送道路や道路種別や橋梁規模などの各種評価指標が考えられる。

対策優先度評価の視点として、「①健全性に関する指標」、「②路線の重要度に関する指標」から評価するものとする。

対策優先度評価の検討条件として、健全性を第一優先と考え、健全性が同一の場合に路線の重要度を考慮することとする。

表 2 対策優先度評価の視点

評価の視点	概要
① 健全性に関する指標	劣化要因や劣化環境など、変状の進展速度に着目した評価項目 ⇒橋梁の劣化のしやすさの視点
② 路線の重要度に関する指標	橋梁が位置する路線が保有する重要度に着目した評価項目 ⇒利用者や周辺住民の視点

ここでも、優先順位の設定に用いる指標は現状整理の結果から施設の重要度に関わるとされたものを活用する。

表 3 管理目標の設定指標

特性	指標	指標設定の視点	施設の重要度
施設特性	橋梁種別	橋梁種別によって、劣化進行による構造的影響の程度が異なる。	△：対策実施効果への影響に差がある（予防保全によるPC鋼材の保護、定期的な塗装塗替え）
	橋長	規模が大きいほど維持管理の難易度や異常時の影響度が大きい（重要性が高い）	○：事業規模・難易度を考慮し、対策の先送りリスクに影響（長大橋の予防対策）
	道路種別	一級市道、二級市道、その他市道の順に、一般に路線規格（施設重要性）が高い	○：路線規格が高い路線の橋梁ほど重要度に影響
	架設年度	更新時期の決定や補修までのサイクルを決定する	△：供用年数と施設の重要度は必ずしも関連性は見いだせない
	緊急輸送道路	施設機能確保を特に求められる重要路線に位置付けられる	○：路線の快適性確保が求められる
	バス路線	市民の交通ネットワークであるバス路線上に架設されている場合は重要度が高い	△：市民の交通ネットワーク確保が求められる
	桁下環境	第三者影響の可能性や、対策時の協議を考慮	○：第三者影響に関連して安全性が求められる
劣化特性	健全度	健全性の良悪により対策の有無を判断	○：対策の緊急性に影響
	気象状況	天候が原因により発生する損傷、劣化を考慮	×：特に考慮する要素はない
	周辺地形	周辺環境による劣化因子を考慮	×：特に考慮する要素はない

B. 優先度評価方法の設定

対策の優先度は、対策要否の判断に直結する診断区分（Ⅰ～Ⅳ）での評価は不可欠である。また、推計により決定した管理戦略によって、管理水準を設定している。これら 2 指標での評価が健全性、重要性の観点から基本とすることが考えられる。しかしながらこれだけでの順位付けでは、困難なため、第二段階としてそのほかの指標を用いた評価も実施する。

a. 優先度評価（第一評価）

第一評価として健全性と重要性を表現する最も大きな指標となる、診断区分と管理区分を用いて順位設定を行う。

順位設定は下表に従うこととする。手厚い管理が必要な橋梁から順に対策を実施する。

表 4 順位設定

診断区分	予防保全型	早期対策型	事後保全型
Ⅳ	①	②	③
Ⅲ	④	⑤	
Ⅱ	⑥		
Ⅰ		対策不要	

b. 優先度評価（第二評価）

第一段階における①～⑥だけでは同順位となる施設が複数出てしまうため、①～⑥それぞれの中の順位設定を行う必要がある。ここでは、施設の重要度に関わる指標を用いて、指標ごとに橋梁の優先性に影響を及ぼす程度に留意し、指標への該当の有無によって、順位設定を行う。

以下の指標を上位の指標から該当の有無によって各橋梁の重要性を評価し、それにより優先順位を評価する。

表 5 社会的影響度の算出項目

桁下環境	緊急交通路に該当	道路種別	バス路線に該当	橋長
跨道橋 ・跨線橋	○	一級・二級市道	○ ×	① ↑ 同じ区分の中で橋長の長い橋梁から優先順位を設定 ⑱ ↓
		その他市道	○ ×	
	×	一級・二級市道	○ ×	
		その他市道	○ ×	
河川 ・水路	○	一級・二級市道	○ ×	
		その他市道	○ ×	
	×	一級・二級市道	○ ×	
		その他市道	○ ×	

表 6 優先度評価該当一覧（第二評価抜粋）※全橋分は参考資料として添付

優先順位	橋梁コード	橋梁名称	路線名	路下条件	緊急輸送路	道路種別	バス路線	延長(H21)	優先度
1	5002	百重ヶ原橋	私市東廻り線	跨線橋		その他		26.1	高 ↑
2	5003	岩屋橋	私市獅子屈寺線	跨線橋		その他		24.8	
3	2315	私市橋	星田私市線		○	1級	○	38.0	↓ 低
4	6922	夫婦石橋	星田山手30号線		○	1級	○	14.1	
5	0075	無名橋	私部西線		○	1級	○	4.8	
6	0074	鳥ヶ坪橋	私部西線		○	1級		9.8	
7	7401	傍示川橋	星田山手31号線		○	1級		7.8	
8	0073	西ノ口栄橋	私部西線		○	1級		7.0	
9	0033	無名橋2	私部春日線		○	1級		6.0	
10	6921	無名橋	星田山手30号線		○	1級		4.9	
11	0221	無名橋	星田私市線		○	1級		4.4	
12	0037	無名橋5	私部春日線		○	1級		4.1	
13	0032	無名橋1	私部春日線		○	1級		3.0	
14	0034	無名橋3	私部春日線		○	1級		2.6	
15	0036	無名橋4	私部春日線		○	1級		2.2	
16	0301-1	星田山手橋1	星田山手線			2級		13.6	

(4) 個別施設の状態等

下表に橋梁ごとの健全度及び優先度評価に活用する指標を整理した。

表 7 個別施設の状態等（抜粋）※全橋分は参考資料として添付

優先順位	橋梁番号	施設名	路線名	橋種	桁下環境	緊急 交通 路	道路 種別	バス 路線	橋長 (m)	設置 年	経過年数 (年)	前回点検年 度	健全 度
1	5002	百重ヶ原橋	私市東廻り線	鋼橋	跨線橋		その他		26.1	1991	27	28	I
2	5003	岩屋橋	私市獅子屈寺線	鋼橋	跨線橋		その他		24.8	1929	89	29	III
3	2315	私市橋	星田私市線	PC		○	1級	○	38.0	1995	23	28	III
4	6922	夫婦石橋	星田山手30号線	PC		○	1級	○	14.1	1989	29	28	III
5	0075	無名橋	私部西線	BOX		○	1級	○	4.8	不明	33	28	III
6	0074	鳥ヶ坪橋	私部西線	PC		○	1級		9.8	1975	43	28	II
7	7401	傍示川橋	星田山手31号線	PC		○	1級		7.8	1989	29	28	II
8	0073	西ノ口栄橋	私部西線	BOX		○	1級		7.0	1972	46	28	II
9	0033	無名橋2	私部春日線	BOX		○	1級		6.0	不明	42	28	II
10	6921	無名橋	星田山手30号線	BOX		○	1級		4.9	不明	14	28	II
11	0221	無名橋	星田私市線	RC		○	1級		4.4	不明	42	28	II
12	0037	無名橋5	私部春日線	RC		○	1級		4.1	不明	53	28	II
13	0032	無名橋1	私部春日線	BOX		○	1級		3.0	不明	37	28	II
14	0034	無名橋3	私部春日線	RC		○	1級		2.6	不明	53	28	II
15	0036	無名橋4	私部春日線	RC		○	1級		2.2	不明	53	28	II
16	0301-1	星田山手橋1	星田山手線	PC			2級		13.6	不明	42	28	II
17	0011-2	無名橋2	私部郡津線	鋼橋			2級		13.25	不明	53	28	III
18	0011-1	無名橋1	私部郡津線	RC			2級		10.6	不明	53	28	II
19	0301-2	星田山手橋2	星田山手線	RC			2級		10.1	不明	42	28	II
20	0212	無名橋2	私市山手線	PC			2級		10.0	不明	71	28	II
21	0131	落合橋	私部森北線	RC			1級		5.5	1956	62	28	II
22	0142	無名橋2	私部森南線	RC			2級		5.4	不明	71	28	II
23	0211	無名橋1	私市山手線	RC			2級		5.3	不明	71	28	II
24	0012	無名橋3	私部郡津線	RC			2級		5.3	不明	53	28	III
25	0141	無名橋1	私部森南線	RC			2級		5.2	不明	71	28	III
26	0171	無名橋1	森南神宮寺線	RC			1級		5.0	不明	33	28	II
27	0241	妙見橋	星田阿茶谷線	RC			1級		4.8	1966	52	28	III
28	0257	無名橋	星田妙見東線	BOX			1級		4.7	不明	42	28	II
29	0091	無名橋	警察学校線	RC			2級		3.9	不明	42	28	III
30	7421	無名橋	星田57号線	RC			1級		3.8	不明	14	28	II
31	6721	無名橋	私部84号線	BOX			1級		3.5	不明	42	28	II
32	0042	無名橋2	私部青山線	RC			2級		3.2	不明	42	28	II
33	0101	無名橋	倉治山手線	RC			2級		2.9	不明	53	28	II
34	0143	無名橋3	私部森南線	BOX			2級		2.6	不明	42	28	II
35	0041	無名橋1	私部青山線	RC			2級		2.6	不明	42	28	II
36	0172	無名橋2	森南神宮寺線	RC			1級		2.4	不明	42	28	II
37	0231	無名橋	星田北線	BOX			1級		2.3	不明	71	28	III
38	1062	無名橋	私部倉治線	RC			その他	○	4.0	不明	71	28	II
39	1061	私部橋	私部倉治線	RC			その他	○	3.18	不明	71	28	II
40	2151	無名橋	私部3号線	RC			その他	○	2.5	不明	71	28	II
41	2682	松塚橋	松塚線	PC			その他		16.8	1968	50	28	II
42	5471	出入橋	星田山手1号線	PC			その他		14.0	1956	62	28	III
43	2811	西長砂橋	私部西15号線	PC			その他		13.6	1993	25	28	I
44	3901	無名橋	私市山手15号線	PC			その他		13.5	1979	39	28	II
45	4261	無名橋	藤が尾1号線	PC			その他		10.5	不明	42	28	II
46	0421	無名橋	私部西天野が原町線	PC			その他		10.1	2016	2	28	II
47	0061	無名橋1	私部郡津幾野線	RC			その他		10.0	不明	71	28	II
48	3191	無名橋	天野が原町19号線	RC			その他		9.7	不明	42	28	II
49	0701	無名橋	松塚26号線	PC			その他		9.4	不明	42	28	II
50	6803	御幸橋	私市中央線	鋼橋			その他		9.2	不明	71	28	I

(5) 対策内容と実施時期

対策内容・対策時期に関しては、補修実績や標準的な対策工法から補修内容を洗い出し、平成 31 年 2 月現在の単価を用いて土木工事標準積算基準書から対策単価を算出している。以下にその結果を整理した。

A. 対策工法および対策単価

これまでの補修実績や一般的な対策工法を洗い出し、各健全度判定で実施する対策工法を整理している。また、対策の単価は一般的な対策工法を活用する。

表 8 対策工法

部材	材料	対策工法	対策を実施する健全度判定			直工単価	単位
			Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ		
主桁	鋼	部分塗装 (Ra-Ⅲ)	○	-	-	4,076	円/m ²
		全面塗装 (Rc-Ⅰ)	○	○	-	12,284	円/m ²
	RC・PC	表面被覆	○	○	-	6,482	円/m ²
		断面修復	○	○	-	113,633	円/m ²
床版	RC	床版防水	○	○	-	10,686	円/m ²
		断面修復	○	○	-	113,633	円/m ²
下部工	コンクリート	表面被覆	○	○	-	6,482	円/m ²
		断面修復	○	○	-	113,633	円/m ²
	支承	全面塗装 (Rc-Ⅰ) (二回目から)	○	○	-	12,284	円/m ²
	伸縮装置	部材交換	-	○	-	100,000	円/m
	防護柵	部材交換	-	○	-	43,801	円/m ²
更新		鋼橋	-	-	○	370,000	円/m ²
		PC 橋	-	-	○	360,000	円/m ²
		RC 橋	-	-	○	500,000	円/m ²
		BOX	-	-	○	205,000	円/m ²

表 9 対策工法単価

部材	材料	対策工法	直工単価	経費込単価
主桁	鋼	部分塗装 (Rc-Ⅲ)	5,000 円/m ²	10,000 円/m ²
		全面塗装 (Rc-Ⅰ)	13,000 円/m ²	30,000 円/m ²
		当板補強	131,000 円/箇所	312,000 円/箇所
	RC・PC	表面被覆	7,000 円/m ²	16,000 円/m ²
		断面修復	114,000 円/m ²	270,000 円/m ²
		炭素繊維接着 (2 層)	23,000 円/m ²	54,000 円/m ²
床版	RC	床版防水	11,000 円/m ²	26,000 円/m ²
		炭素繊維接着 (2 層)	23,000 円/m ²	54,000 円/m ²
		床版打換え	123,000 円/m ²	270,000 円/m ²
橋台 橋脚	コンクリート	断面修復	114,000 円/m ²	270,000 円/m ²
		炭素繊維接着 (2 層)	23,000 円/m ²	54,000 円/m ²
		RC 巻立て	46,000 円/m ²	108,000 円/m ²
支承	支承	支承部分塗装	13,000 円/m ²	30,000 円/m ²
		支承取替工	916,000 円/基	2,176,000 円/基
伸縮装置	鋼等	伸縮装置取替工	100,000 円/m	237,600 円/m
防護柵	鋼等	防護柵取替工	44,000 円/m ²	105,000 円/m ²

B. 対策工法の選定

適用する対策工法および対策範囲に関しては、橋梁ごとに損傷種類や発生箇所が様々であるため、点検調書より諸元情報・損傷図・損傷写真を確認し、個別に設定することとした。

表 10 対策工法と対策範囲

部 材		対策内容設定の基本的な考え方
主構造	鋼	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に錆が発生している場合は全面の塗装を想定する。 ・腐食の発生が桁端部に限られる場合は、端部のみの部分塗装を計上する。 ・なお、部分塗装においては旧塗装系（Ra-Ⅲ）による塗替えを想定し、その後重防食塗装系（Rc-Ⅰ）による全面塗装を実施する計画とする。
	コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・PC 橋に関しては、ひび割れが見られた場合は詳細調査の実施を視野に入れる。対策は床版防水を基本とし、損傷状況に応じてひびわれ注入等を計上する。 ・RC 橋に関しては、断面修復による対策を基本とする。
	BOX	<ul style="list-style-type: none"> ・局所的な漏水・遊離石灰に関しては、対策不要とする。 ※BOX カルバートは損傷が発生した状況でも耐荷性や耐久性が大きく低下しない
支承	<ul style="list-style-type: none"> ・桁塗装を実施する際、支承に腐食が生じている場合は、併せて全支承塗替えを計上する。 ・支承の交換が必要な損傷が発生しているものは、支承交換を計上する。 	
伸縮装置	<ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置に関する路面の凹凸に関しては、桁のたわみ、下部工の沈下や傾斜、支承の移動など（橋梁全体に影響するような変状）が見られない限り、舗装のオーバーレイで対応する。 	
高欄	<ul style="list-style-type: none"> ・高欄交換は、広範囲に著しい腐食や変形が発生している場合の実施を基本とする。 ・高欄塗装は、広範囲に防食機能の劣化や腐食が発生している場合に計上する。 ・高欄交換や塗装について、部分的に必要と判断する場合は、その数量を計上する。 	
排水施設	<ul style="list-style-type: none"> ・排水施設の土砂詰まりによる橋面への滞水が、桁下への漏水に発展し更なる劣化へと進展するケースもあり、これらの損傷は軽微な対応（維持工事）で防ぐ事ができるため積極的に対応する。 	

C. 対策数量の設定

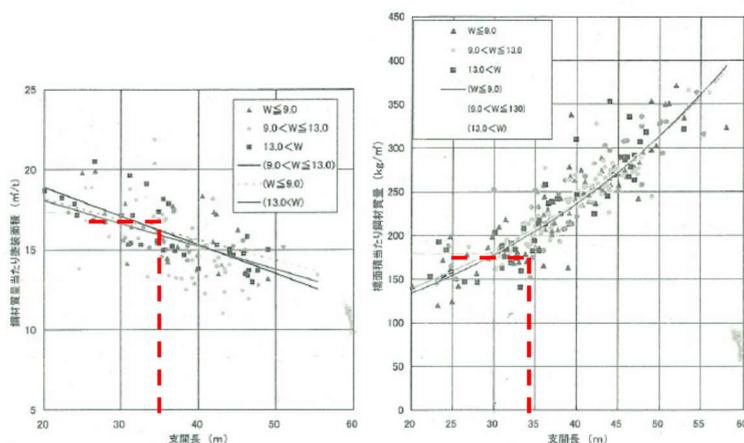
a. 塗装面積

塗装面積の設定方法は以下算出方法を参考に算出する。

全面塗装の際の塗装面積は、デザインデータブック等を参考に下式により塗装面積を算出した。

$$(\text{塗装面積} / \text{鋼材質量}) \times (\text{鋼材質量} / \text{橋面積}) = (\text{塗装面積} / \text{橋面積})$$

形式ごとの算出結果は下表の通りである。形式ごとの算出根拠は表以降に示す（主な算出根拠は「'06 Design Data Book : 日本橋梁建設協会」出典）。



鋼材質量当たり塗装面積 (I桁橋)

橋面積当たり鋼材質量 (I桁橋)

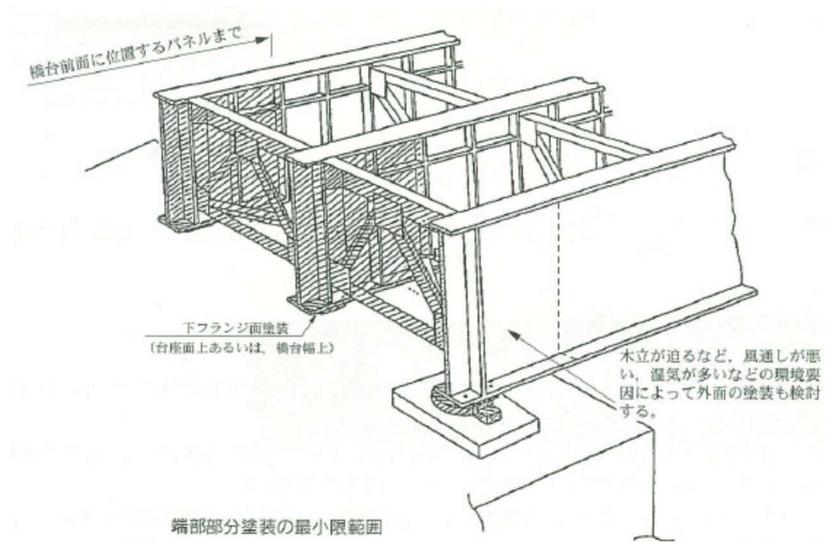
$$\underline{\underline{\text{I桁橋} : 16 \sim 18 \text{m}^2 / \text{t} \times 170 \sim 180 \text{kg} / \text{m}^2 \div 1,000 \div 3.0 \text{ (塗装面積} / \text{橋面積)}}}$$

図 1 塗装面積

<部分塗装>

部分塗装の塗装範囲は、下図を参考に、橋台前面に位置するパネルまでの範囲を 1.5m（形式によって様々であるが、橋座がおよそ 1m 未満、橋台全面のパネル位置を 0.5m 程度と仮定）とする。

つまり、部分塗装の際の塗装面積＝全幅員×3×1.5m とする。



※図は耐候性鋼材に対する知見であるが、塗装範囲の参考値としては不問であると判断した

図 2 端部部分塗装の最小範囲（再掲）

（出典：'06 Design Data Book：日本橋梁建設協会）

b. 当て板補強

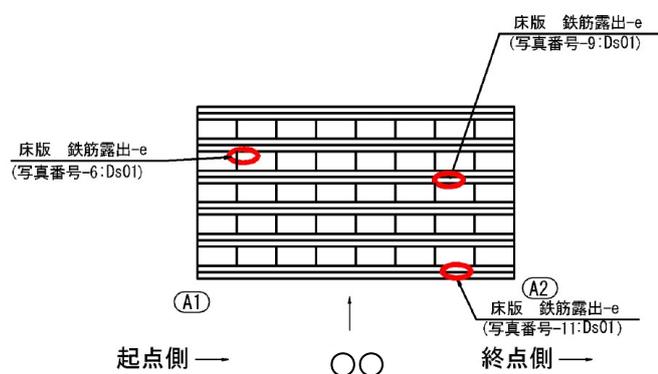
当て板に関しても設定数量の考え方は損傷箇所数とする。

a. 断面修復・ひび割れ注入

コンクリート部材の断面修復・ひび割れ注入の対策範囲は、橋面積の概ね何割かひび割れ長さ概ね何mかといった視点で、点検結果（点検写真、損傷図）・諸元（橋長、幅員）、点検者の所見・コメントなどを参考に概算で計上する。

コンクリート橋の主構造と鋼橋の RC 床版での対策数量の設定例を以下に示す。

（例）橋面積の 1 割とした事例



（例）橋面積の 3 割とした事例

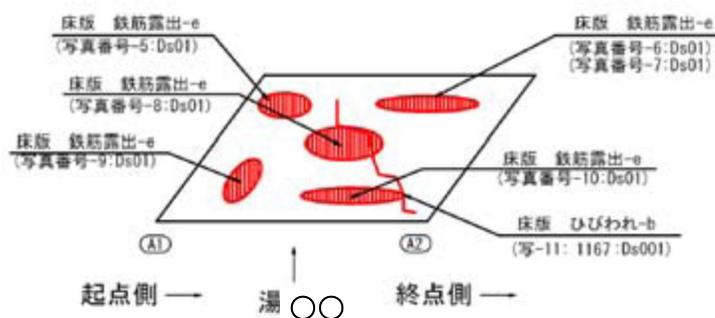


図 3 コンクリート対策数量

b. 橋面防水

コンクリート橋、鋼橋の RC 床版に防水層設置を行う場合は橋梁全体または径間全体の面積を計上する。

c. その他各種部材

その他部材として支承、伸縮装置、地覆・高欄の対策数量の設定結果を示す。

表 11 対策数量

部材	対策工法	対策数量の設定	対策単位の設定
支承	支承交換	支承基数	基当り
	支承塗装	支承基数	m ² 当り (1基1m ² と仮定)
	モルタル補修	支承基数	m ² 当り (1基1m ² と仮定)
伸縮装置	伸縮装置非排水化	実施箇所の幅(長さ)	m当り
	伸縮装置交換	実施箇所の幅(長さ)	m当り
地覆・高欄	地覆・高欄の全交換	橋長×2	m当り
	地覆・高欄の部分交換	実施箇所の延長	m当り
	高欄の塗装	橋長×1m(高さ)×2 ※部分塗装は橋長×1m ×2×1/2 又は 1/4	m当り

D. 対策実施時期について

対策実施時期は、上記考えで計上した対策費用に対して、投資可能額がどの程度かによって影響を受けるため、以降の対策費用、投資可能な予算の整理結果を踏まえ、決定することとなる。

一方で、対策要否を決定する必要がある、そのためには管理水準の設定が必要となる。こちらは、将来推計より設定した下表の結果を適用することとする。

表 12 対策シナリオ

種別	対象	維持管理手法	管理水準
道路橋	線路、道路に跨る橋梁 緊急輸送道路上に架設する橋梁	予防保全型	Ⅱ
	一級・二級に該当する橋梁 上記以外の橋長 5m 以上の橋梁	早期対策型	Ⅲ
	事業規模の小さい橋長 5m 未満橋梁	事後保全型 (BOX化)	寿命到達時

(6) 対策費用

A. 費用算出条件

計画策定の際の詳細な費用算出条件として、過去の対策実績を踏まえて下表の通り設定した。

表 13 設計費用、点検費用

項目		設定額	設定根拠
設計費		修繕費の6割とし 最低金額を2.5百万円/橋	平成25年からの対策実績より平均相当額を設定
点検費	道路橋	35百万円を橋面積比で按分	跨線橋を除く136橋35百万円の点検実績を基に設定
	跨線橋	岩屋橋：21百万円 百重ヶ原橋：14百万円	跨線橋のこれまでの点検実績を基に設定

表 14 設計実績

年度	橋梁番号	設計業務費(積算:円)	工事費(積算:円)	割合
H25. H26	0032、6801	7,738,500	12,255,840	63%
H26. H26	2131、6803	7,623,720	11,930,760	64%
H27. H27	0033、0171、 0221、2141	13,098,240	17,375,040	75%
H27. H28	0271、5281	4,324,320	9,853,920	44%
H28. H29	0231、0141	3,843,720	13,241,880	29%
H29. H30	3061	4,477,680	4,740,120	94%
平均割合				61.6%

表 15 点検実績

年度	対象橋梁	点検費用(円)
H28	136橋	35,189,640
H28	1橋、跨線橋：百重ヶ原橋	13,856,400
H29	1橋、跨線橋：岩屋橋	21,196,000

B. 費用算出結果

要補修橋梁を抽出し、それらに必要となる費用を集計した。当費用が計画期間内に必要となる費用とすることを基本とする。

表 16 費用算出結果

(単位：百万円、※印は費用増加の要因)

種別	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
設計費	7	22	8	10	11	12	11	8	20	0
修繕費	14	11	35 ※私市橋	11	16	16	17	18	5	9
点検費	0	0	48 ※137橋点検	21	0	0	0	48 ※137橋点検	21	0
合計	21	33	91	42	27	28	28	74	46	9
10年の合計									399百万円	

(7) 計画の策定

計画策定条件を踏まえ、以下の通り計画を策定した。なお、策定した計画は巻末に示す。

- ・ 修繕予定の反映

既に平成 31 年度～平成 33 年度においては設計・工事を実施する橋梁が計画されているが、前回点検の結果や今計画での (3) 優先度評価の考え方に照らし合わせ対策時期を検討した結果を踏まえて再度修繕計画を検討している。

- ・ 修繕履歴の反映

点検実施後に修繕履歴のある橋梁については、部材ごとの対策履歴に応じて、対策済みの部材は対策不要となるよう計画に反映した。

(8) 今後の取組

- 1) 新技術の活用による令和 10 年までの短期的な数値目標

管理する 138 橋のうち、約 1 割の橋梁で新技術の活用を目指します。

- 2) 集約化・撤去

迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、令和 10 年度までに 1 橋程度の集約化・撤去を検討します。

- 3) 新技術の活用による費用縮減

次回の定期点検から、すべての橋梁で新技術の活用を検討し、令和 10 年度までに約 1 割のコスト縮減を目指します。

< 参考資料 表6 優先度評価該当表 (第二評価) >

優先順	橋梁番号	施設名	路線名	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)
1	5002	百重ヶ原橋	私市東廻り線	跨線橋		その他		26.1
2	5003	岩屋橋	私市獅子屈寺線	跨線橋		その他		24.8
3	2315	私市橋	星田私市線		○	1級	○	38.0
4	6922	夫婦石橋	星田山手30号線		○	1級	○	14.1
5	0075	無名橋	私部西線		○	1級	○	4.8
6	0074	烏ヶ坪橋	私部西線		○	1級		9.8
7	7401	傍示川橋	星田山手31号線		○	1級		7.8
8	0073	西ノ口栄橋	私部西線		○	1級		7.0
9	0033	無名橋2	私部春日線		○	1級		6.0
10	6921	無名橋	星田山手30号線		○	1級		4.9
11	0221	無名橋	星田私市線		○	1級		4.4
12	0037	無名橋5	私部春日線		○	1級		4.1
13	0032	無名橋1	私部春日線		○	1級		3.0
14	0034	無名橋3	私部春日線		○	1級		2.6
15	0036	無名橋4	私部春日線		○	1級		2.2
16	0301-1	星田山手橋1	星田山手線			2級		13.6
17	0011-2	無名橋2	私部郡津線			2級		13.25
18	0011-1	無名橋1	私部郡津線			2級		10.6
19	0301-2	星田山手橋2	星田山手線			2級		10.1
20	0212	無名橋2	私市山手線			2級		10.0
21	0131	落合橋	私部森北線			1級		5.5
22	0142	無名橋2	私部森南線			2級		5.4
23	0211	無名橋1	私市山手線			2級		5.3
24	0012	無名橋3	私部郡津線			2級		5.3
25	0141	無名橋1	私部森南線			2級		5.2
26	0171(-1)	無名橋1	森南神宮寺線			1級		5.0
27	0241	妙見橋	星田阿茶谷線			1級		4.8
28	0257	無名橋	星田妙見東線			1級		4.7
29	0091	無名橋	警察学校線			2級		3.9
30	7421	無名橋	星田57号線			1級		3.8
31	6721	無名橋	私部84号線			1級		3.5
32	0042	無名橋2	私部青山線			2級		3.2
33	0101	無名橋	倉治山手線			2級		2.9
34	0143	無名橋3	私部森南線			2級		2.6
35	0041	無名橋1	私部青山線			2級		2.6
36	0172	無名橋2	森南神宮寺線			1級		2.4
37	0231	無名橋	星田北線			1級		2.3
38	1062	無名橋	私部倉治線			その他	○	4.0
39	1061	私部橋	私部倉治線			その他	○	3.18
40	2151	無名橋	私部3号線			その他	○	2.5

優先順	橋梁番号	施設名	路線名	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)
41	2682(径間1)	松塚橋	松塚線			その他		16.8
42	5471(径間1)	出入橋	星田山手1号線			その他		14.0
43	2811	西長砂橋	私部西15号線			その他		13.6
44	3901	無名橋	私市山手15号線			その他		13.5
45	4261	無名橋	藤が尾1号線			その他		10.5
46	0421	無名橋	私部西天野が原町線			その他		10.1
47	0061	無名橋1	私部郡津幾野線			その他		10.0
48	3191(径間1)	無名橋	天野が原町19号線			その他		9.7
49	0701	無名橋	松塚26号線			その他		9.4
50	6803	御幸橋	私市中央線			その他		9.2
51	1761	無名橋	郡津93号線			その他		9.2
52	8251	無名橋	幾野55号線			その他		8.85
53	0361	無名橋	郡津城線			その他		7.4
54	6802	無名橋2	私市中央線			その他		6.8
55	5071	無名橋	星田7号線			その他		6.6
56	0431	無名橋	青山寺線			その他		6.5
57	0383	無名橋3	天野が原町私部線			その他		6.5
58	0351	無名橋1	幾野私部線			その他		6.3
59	0192	無名橋	私市東廻り線			その他		6.3
60	6820	無名橋	倉治78号線			その他		6.1
61	1941	無名橋	青山22号線			その他		6.0
62	0391	無名橋	星田藤が尾線			その他		6.0
63	6621	無名橋	私部82号線			その他		5.9
64	3021	無名橋	天野が原町2号線			その他		5.8
65	2691	無名橋	私部西3号線			その他		5.8
66	1861	無名橋	倉治48号線			その他		5.8
67	4771	無名橋	妙見坂31号線			その他		5.7
68	1611	無名橋	星田山手34号線			その他		5.7
69	0821-2	無名橋2	郡津4号線			その他		5.7
70	0331	無名橋	倉治青山線			その他		5.7
71	0151	無名橋	私部寺北線			その他		5.6
72	6571	無名橋	私部79号線			その他		5.4
73	4311	無名橋	藤が尾6号線			その他		5.4
74	0381(-1)	無名橋1	天野が原町私部線			その他		5.2
75	4641	無名橋	妙見坂18号線			その他		5.1
76	6581	無名橋	私部80号線			その他		5.0
77	1201	無名橋	郡津82号線			その他		5.0
78	6811	無名橋2	倉治山手19号線			その他		4.9
79	9771	無名橋	天野が原町62号線			その他		4.8
80	8661	無名橋	倉治61号線			その他		4.8

優先順	橋梁番号	施設名	路線名	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)
81	0321	無名橋	倉治神宮寺線			その他		4.8
82	0121	無名橋	幾野中央線			その他		4.8
83	2911	無名橋1	向井田5号線			その他		4.7
84	2001	無名橋	倉治120号線			その他		4.6
85	1431(-1)	無名橋1	倉治5号線			その他		4.5
86	0386	無名橋	妙見坂45号線			その他		4.4
87	6804	無名橋	寺17号線			その他		4.1
88	0382	無名橋2	天野が原町私部線			その他		4.1
89	8681	無名橋	倉治84号線			その他		4.0
90	3061	無名橋	天野が原町6号線			その他		4.0
91	3041	無名橋	天野が原町4号線			その他		4.0
92	3031	無名橋	天野が原町3号線			その他		4.0
93	1451	無名橋	倉治7号線			その他		4.0
94	6810	無名橋1	倉治山手19号線			その他		3.9
95	0791	無名橋	郡津1号線			その他		3.9
96	3341	無名橋	天野が原町34号線			その他		3.7
97	2091	無名橋	青山12号線			その他		3.65
98	6671	無名橋	星田42号線			その他		3.5
99	0821-1	無名橋1	郡津4号線			その他		3.4
100	6801	無名橋1	私市中央線			その他		3.2
101	6001	無名橋	私部55号線			その他		3.1
102	0001	無名橋	星田北15号線			その他		3.1
103	6805	無名橋	私部西13号線			その他		3.0
104	0251	無名橋	私部星田線			その他		3.0
105	6931	無名橋	星田北9号線			その他		2.9
106	4152	無名橋	私市6号線			その他		2.9
107	0801	無名橋	郡津71号線			その他		2.9
108	6651	無名橋1	天野が原町51号線			その他		2.8
109	6091	無名橋	私市17号線			その他		2.8
110	3291	無名橋	天野が原町29号線			その他		2.8
111	1581	無名橋	倉治20号線			その他		2.8
112	1211	無名橋	郡津83号線			その他		2.8
113	6652	無名橋2	天野が原町51号線			その他		2.7
114	5111	無名橋	星田11号線			その他		2.7
115	4151	無名橋	私市6号線			その他		2.7
116	3181	無名橋	天野が原町18号線			その他		2.7
117	2991	無名橋	向井田13号線			その他		2.7
118	3321	無名橋	天野が原町32号線			その他		2.6
119	2912	無名橋2	向井田5号線			その他		2.6
120	2642	無名橋2	私部52号線			その他		2.6

優先順	橋梁番号	施設名	路線名	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)
121	2641	無名橋1	私部52号線			その他		2.5
122	2141	無名橋	私部2号線			その他		2.5
123	1301	無名橋	幾野31号線			その他		2.5
124	0411	無名橋	私部神宮寺南線			その他		2.45
125	6711	無名橋	郡津29号線			その他		2.4
126	2611	無名橋	私部49号線			その他		2.4
127	2381	市場橋	私部26号線			その他		2.4
128	0384	無名橋4	天野が原町私部線			その他		2.4
129	0062	無名橋2	私部郡津幾野線			その他		2.4
130	6821	無名橋	星田58号線			その他		2.3
131	5281	無名橋	星田28号線			その他		2.3
132	5271	無名橋	星田27号線			その他		2.3
133	2021	無名橋	倉治122号線			その他		2.3
134	2131	無名橋	私部1号線			その他		2.2
135	1432	無名橋2	倉治5号線			その他		2.2
136	1701	無名橋	倉治32号線			その他		2.0
137	0822	無名橋3	郡津4号線			その他		2.0
138	0352	無名橋2	幾野私部線			その他		2.0

< 参考資料 表7 個別施設の状態等 >

優先順位	橋梁番号	施設名	路線名	橋種	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)	設置年	経過年数 (推定値)	点検年度	健全度
1	5002	百重ヶ原橋	私市東廻り線	鋼橋	跨線橋		その他		26.1	1991	27	28	I
2	5003	岩屋橋	私市獅子屈寺線	鋼橋	跨線橋		その他		24.8	1929	89	29	III
3	2315	私市橋	星田私市線	PC		○	1級	○	38.0	1995	23	28	III
4	6922	夫婦石橋	星田山手30号線	PC		○	1級	○	14.1	1989	29	28	III
5	0075	無名橋	私部西線	BOX		○	1級	○	4.8	不明	33	28	III
6	0074	烏ヶ坪橋	私部西線	PC		○	1級		9.8	1975	43	28	II
7	7401	傍示川橋	星田山手31号線	PC		○	1級		7.8	1989	29	28	II
8	0073	西ノ口栄橋	私部西線	BOX		○	1級		7.0	1972	46	28	II
9	0033	無名橋2	私部春日線	BOX		○	1級		6.0	不明	42	28	II
10	6921	無名橋	星田山手30号線	BOX		○	1級		4.9	不明	14	28	II
11	0221	無名橋	星田私市線	RC		○	1級		4.4	不明	42	28	II
12	0037	無名橋5	私部春日線	RC		○	1級		4.1	不明	53	28	II
13	0032	無名橋1	私部春日線	BOX		○	1級		3.0	不明	37	28	II
14	0034	無名橋3	私部春日線	RC		○	1級		2.6	不明	53	28	II
15	0036	無名橋4	私部春日線	RC		○	1級		2.2	不明	53	28	II
16	0301-1	星田山手橋1	星田山手線	PC			2級		13.6	不明	42	28	II
17	0011-2	無名橋2	私部郡津線	鋼橋			2級		13.25	不明	53	28	III
18	0011-1	無名橋1	私部郡津線	RC			2級		10.6	不明	53	28	II
19	0301-2	星田山手橋2	星田山手線	RC			2級		10.1	不明	42	28	II
20	0212	無名橋2	私市山手線	PC			2級		10.0	不明	71	28	II
21	0131	落合橋	私部森北線	RC			1級		5.5	1956	62	28	II
22	0142	無名橋2	私部森南線	RC			2級		5.4	不明	71	28	II
23	0211	無名橋1	私市山手線	RC			2級		5.3	不明	71	28	II
24	0012	無名橋3	私部郡津線	RC			2級		5.3	不明	53	28	III
25	0141	無名橋1	私部森南線	RC			2級		5.2	不明	71	28	III
26	0171(-1)	無名橋1	森南神宮寺線	RC			1級		5.0	不明	33	28	II
27	0241	妙見橋	星田阿茶谷線	RC			1級		4.8	1966	52	28	III
28	0257	無名橋	星田妙見東線	BOX			1級		4.7	不明	42	28	II
29	0091	無名橋	警察学校線	RC			2級		3.9	不明	42	28	III
30	7421	無名橋	星田57号線	RC			1級		3.8	不明	14	28	II
31	6721	無名橋	私部84号線	BOX			1級		3.5	不明	42	28	II
32	0042	無名橋2	私部青山線	RC			2級		3.2	不明	42	28	II
33	0101	無名橋	倉治山手線	RC			2級		2.9	不明	53	28	II
34	0143	無名橋3	私部森南線	BOX			2級		2.6	不明	42	28	II
35	0041	無名橋1	私部青山線	RC			2級		2.6	不明	42	28	II
36	0172	無名橋2	森南神宮寺線	RC			1級		2.4	不明	42	28	II
37	0231	無名橋	星田北線	BOX			1級		2.3	不明	71	28	III
38	1062	無名橋	私部倉治線	RC			その他	○	4.0	不明	71	28	II
39	1061	私部橋	私部倉治線	RC			その他	○	3.18	不明	71	28	II
40	2151	無名橋	私部3号線	RC			その他	○	2.5	不明	71	28	II

優先順位	橋梁番号	施設名	路線名	橋種	桁下環境	緊急交通路	道路種別	バス路線	橋長(m)	設置年	経過年数 (推定値)	点検年度	健全度
41	2682(径間1)	松塚橋	松塚線	PC			その他		16.8	1968	50	28	Ⅱ
42	5471(径間1)	出入橋	星田山手1号線	PC			その他		14.0	1956	62	28	Ⅲ
43	2811	西長砂橋	私部西15号線	PC			その他		13.6	1993	25	28	Ⅰ
44	3901	無名橋	私市山手15号線	PC			その他		13.5	1979	39	28	Ⅱ
45	4261	無名橋	藤が尾1号線	PC			その他		10.5	不明	42	28	Ⅱ
46	0421	無名橋	私部西天野が原町線	PC			その他		10.1	2016	2	28	Ⅱ
47	0061	無名橋1	私部郡津幾野線	RC			その他		10.0	不明	71	28	Ⅱ
48	3191(径間1)	無名橋	天野が原町19号線	RC			その他		9.7	不明	42	28	Ⅱ
49	0701	無名橋	松塚26号線	PC			その他		9.4	不明	42	28	Ⅱ
50	6803	御幸橋	私市中央線	鋼橋			その他		9.2	不明	71	28	Ⅰ
51	1761	無名橋	郡津93号線	RC			その他		9.2	不明	71	28	Ⅱ
52	8251	無名橋	幾野55号線	PC			その他		8.85	不明	14	28	Ⅱ
53	0361	無名橋	郡津城線	RC			その他		7.4	不明	71	28	Ⅱ
54	6802	無名橋2	私市中央線	BOX			その他		6.8	不明	37	28	Ⅱ
55	5071	無名橋	星田7号線	RC			その他		6.6	不明	53	28	Ⅱ
56	0431	無名橋	青山寺線	RC			その他		6.5	不明	71	28	Ⅱ
57	0383	無名橋3	天野が原町私部線	PC			その他		6.5	不明	42	28	Ⅲ
58	0351	無名橋1	幾野私部線	RC			その他		6.3	不明	71	28	Ⅱ
59	0192	無名橋	私市東廻り線	PC			その他		6.3	不明	71	28	Ⅱ
60	6820	無名橋	倉治78号線	RC			その他		6.1	1972	46	28	Ⅱ
61	1941	無名橋	青山22号線	PC			その他		6.0	不明	42	28	Ⅰ
62	0391	無名橋	星田藤が尾線	RC			その他		6.0	不明	42	28	Ⅱ
63	6621	無名橋	私部82号線	RC			その他		5.9	不明	53	28	Ⅱ
64	3021	無名橋	天野が原町2号線	RC			その他		5.8	不明	71	28	Ⅲ
65	2691	無名橋	私部西3号線	RC			その他		5.8	不明	42	28	Ⅱ
66	1861	無名橋	倉治48号線	RC			その他		5.8	不明	53	28	Ⅲ
67	4771	無名橋	妙見坂31号線	BOX			その他		5.7	不明	53	28	Ⅱ
68	1611	無名橋	星田山手34号線	RC			その他		5.7	不明	71	28	Ⅲ
69	0821-2	無名橋2	郡津4号線	RC			その他		5.7	不明	71	28	Ⅲ
70	0331	無名橋	倉治青山線	RC			その他		5.7	不明	42	28	Ⅱ
71	0151	無名橋	私部寺北線	RC			その他		5.6	不明	33	28	Ⅱ
72	6571	無名橋	私部79号線	RC			その他		5.4	不明	37	28	Ⅱ
73	4311	無名橋	藤が尾6号線	PC			その他		5.4	不明	42	28	Ⅱ
74	0381(-1)	無名橋1	天野が原町私部線	RC			その他		5.2	不明	42	28	Ⅲ
75	4641	無名橋	妙見坂18号線	RC			その他		5.1	不明	42	28	Ⅱ
76	6581	無名橋	私部80号線	RC			その他		5.0	不明	37	28	Ⅱ
77	1201	無名橋	郡津82号線	RC			その他		5.0	不明	14	28	Ⅱ
78	6811	無名橋2	倉治山手19号線	RC			その他		4.9	1953	65	28	Ⅱ
79	9771	無名橋	天野が原町62号線	RC			その他		4.8	不明	42	28	Ⅱ
80	8661	無名橋	倉治61号線	RC			その他		4.8	不明	14	28	Ⅱ

優先 順位	橋梁番号	施設名	路線名	橋 種	桁下 環境	緊急 交通路	道路 種別	バス 路線	橋長 (m)	設置 年	経過年数 (推定値)	点 検 年 度	健全 度
81	0321	無名橋	倉治神宮寺線	RC			その他		4.8	不明	71	28	Ⅱ
82	0121	無名橋	幾野中央線	BOX			その他		4.8	不明	42	28	Ⅱ
83	2911	無名橋1	向井田5号線	RC			その他		4.7	不明	42	28	Ⅱ
84	2001	無名橋	倉治120号線	RC			その他		4.6	不明	42	28	Ⅱ
85	1431(-1)	無名橋1	倉治5号線	RC			その他		4.5	不明	71	28	Ⅱ
86	0386	無名橋	妙見坂45号線	RC			その他		4.4	不明	71	28	Ⅱ
87	6804	無名橋	寺17号線	RC			その他		4.1	不明	53	28	Ⅲ
88	0382	無名橋2	天野が原町私部線	RC			その他		4.1	不明	42	28	Ⅱ
89	8681	無名橋	倉治84号線	RC			その他		4.0	不明	42	28	Ⅱ
90	3061	無名橋	天野が原町6号線	RC			その他		4.0	不明	42	28	Ⅲ
91	3041	無名橋	天野が原町4号線	RC			その他		4.0	不明	42	28	Ⅲ
92	3031	無名橋	天野が原町3号線	RC			その他		4.0	不明	42	28	Ⅱ
93	1451	無名橋	倉治7号線	RC			その他		4.0	不明	71	28	Ⅱ
94	6810	無名橋1	倉治山手19号線	RC			その他		3.9	1986	32	28	Ⅱ
95	0791	無名橋	郡津1号線	RC			その他		3.9	不明	71	28	Ⅲ
96	3341	無名橋	天野が原町34号線	RC			その他		3.7	不明	42	28	Ⅱ
97	2091	無名橋	青山12号線	RC			その他		3.65	不明	14	28	Ⅱ
98	6671	無名橋	星田42号線	RC			その他		3.5	不明	42	28	Ⅱ
99	0821-1	無名橋1	郡津4号線	RC			その他		3.4	不明	71	28	Ⅲ
100	6801	無名橋1	私市中央線	RC			その他		3.2	不明	53	28	Ⅰ
101	6001	無名橋	私部55号線	RC			その他		3.1	不明	71	28	Ⅲ
102	0001	無名橋	星田北15号線	BOX			その他		3.1	不明	14	28	Ⅱ
103	6805	無名橋	私部西13号線	BOX			その他		3.0	不明	33	28	Ⅱ
104	0251	無名橋	私部星田線	BOX			その他		3.0	不明	37	28	Ⅱ
105	6931	無名橋	星田北9号線	BOX			その他		2.9	不明	42	28	Ⅱ
106	4152	無名橋	私市6号線	RC			その他		2.9	不明	53	28	Ⅱ
107	0801	無名橋	郡津71号線	BOX			その他		2.9	不明	33	28	Ⅱ
108	6651	無名橋1	天野が原町51号線	RC			その他		2.8	不明	42	28	Ⅲ
109	6091	無名橋	私市17号線	RC			その他		2.8	不明	42	28	Ⅱ
110	3291	無名橋	天野が原町29号線	RC			その他		2.8	不明	42	28	Ⅱ
111	1581	無名橋	倉治20号線	RC			その他		2.8	不明	71	28	Ⅲ
112	1211	無名橋	郡津83号線	RC			その他		2.8	不明	37	28	Ⅲ
113	6652	無名橋2	天野が原町51号線	RC			その他		2.7	不明	42	28	Ⅲ
114	5111	無名橋	星田11号線	RC			その他		2.7	不明	71	28	Ⅱ
115	4151	無名橋	私市6号線	RC			その他		2.7	不明	42	28	Ⅱ
116	3181	無名橋	天野が原町18号線	RC			その他		2.7	不明	42	28	Ⅱ
117	2991	無名橋	向井田13号線	RC			その他		2.7	不明	37	28	Ⅱ
118	3321	無名橋	天野が原町32号線	RC			その他		2.6	不明	42	28	Ⅱ
119	2912	無名橋2	向井田5号線	RC			その他		2.6	不明	42	28	Ⅲ
120	2642	無名橋2	私部52号線	RC			その他		2.6	不明	37	28	Ⅱ

優先 順位	橋梁番号	施設名	路線名	橋 種	桁下 環境	緊急 交通路	道路 種別	バス 路線	橋長 (m)	設置 年	経過年数 (推定値)	点 検 年 度	健全 度
121	2641	無名橋1	私部52号線	RC			その他		2.5	不明	37	28	Ⅱ
122	2141	無名橋	私部2号線	RC			その他		2.5	不明	71	28	Ⅰ
123	1301	無名橋	幾野31号線	BOX			その他		2.5	不明	42	28	Ⅲ
124	0411	無名橋	私部神宮寺南線	RC			その他		2.45	不明	33	28	Ⅱ
125	6711	無名橋	郡津29号線	BOX			その他		2.4	不明	71	28	Ⅱ
126	2611	無名橋	私部49号線	RC			その他		2.4	不明	53	28	Ⅰ
127	2381	市場橋	私部26号線	石橋			その他		2.4	不明	71	28	Ⅱ
128	0384	無名橋4	天野が原町私部線	RC			その他		2.4	不明	71	28	Ⅱ
129	0062	無名橋2	私部郡津幾野線	RC			その他		2.4	不明	14	28	Ⅱ
130	6821	無名橋	星田58号線	RC			その他		2.3	1987	31	28	Ⅱ
131	5281	無名橋	星田28号線	RC			その他		2.3	不明	42	28	Ⅲ
132	5271	無名橋	星田27号線	RC			その他		2.3	不明	42	28	Ⅲ
133	2021	無名橋	倉治122号線	BOX			その他		2.3	2005	13	28	Ⅰ
134	2131	無名橋	私部1号線	RC			その他		2.2	不明	42	28	Ⅱ
135	1432	無名橋2	倉治5号線	RC			その他		2.2	不明	71	28	Ⅰ
136	1701	無名橋	倉治32号線	RC			その他		2.0	不明	71	28	Ⅱ
137	0822	無名橋3	郡津4号線	BOX			その他		2.0	不明	42	28	Ⅱ
138	0352	無名橋2	幾野私部線	RC			その他		2.0	不明	71	28	Ⅱ

< 参考資料 年号・西暦対照表 >

西暦	和暦	西暦	和暦	西暦	和暦
1900年	明治33年	1940年	昭和15年	1980年	昭和55年
1901年	明治34年	1941年	昭和16年	1981年	昭和56年
1902年	明治35年	1942年	昭和17年	1982年	昭和57年
1903年	明治36年	1943年	昭和18年	1983年	昭和58年
1904年	明治37年	1944年	昭和19年	1984年	昭和59年
1905年	明治38年	1945年	昭和20年	1985年	昭和60年
1906年	明治39年	1946年	昭和21年	1986年	昭和61年
1907年	明治40年	1947年	昭和22年	1987年	昭和62年
1908年	明治41年	1948年	昭和23年	1988年	昭和63年
1909年	明治42年	1949年	昭和24年	1989年	昭和64年
1910年	明治43年	1950年	昭和25年		平成元年
1911年	明治44年	1951年	昭和26年	1990年	平成2年
1912年	明治45年	1952年	昭和27年	1991年	平成3年
	大正元年	1953年	昭和28年	1992年	平成4年
1913年	大正2年	1954年	昭和29年	1993年	平成5年
1914年	大正3年	1955年	昭和30年	1994年	平成6年
1915年	大正4年	1956年	昭和31年	1995年	平成7年
1916年	大正5年	1957年	昭和32年	1996年	平成8年
1917年	大正6年	1958年	昭和33年	1997年	平成9年
1918年	大正7年	1959年	昭和34年	1998年	平成10年
1919年	大正8年	1960年	昭和35年	1999年	平成11年
1920年	大正9年	1961年	昭和36年	2000年	平成12年
1921年	大正10年	1962年	昭和37年	2001年	平成13年
1922年	大正11年	1963年	昭和38年	2002年	平成14年
1923年	大正12年	1964年	昭和39年	2003年	平成15年
1924年	大正13年	1965年	昭和40年	2004年	平成16年
1925年	大正14年	1966年	昭和41年	2005年	平成17年
1926年	大正15年	1967年	昭和42年	2006年	平成18年
	昭和元年	1968年	昭和43年	2007年	平成19年
1927年	昭和2年	1969年	昭和44年	2008年	平成20年
1928年	昭和3年	1970年	昭和45年	2009年	平成21年
1929年	昭和4年	1971年	昭和46年	2010年	平成22年
1930年	昭和5年	1972年	昭和47年	2011年	平成23年
1931年	昭和6年	1973年	昭和48年	2012年	平成24年
1932年	昭和7年	1974年	昭和49年	2013年	平成25年
1933年	昭和8年	1975年	昭和50年	2014年	平成26年
1934年	昭和9年	1976年	昭和51年	2015年	平成27年
1935年	昭和10年	1977年	昭和52年	2016年	平成28年
1936年	昭和11年	1978年	昭和53年	2017年	平成29年
1937年	昭和12年	1979年	昭和54年	2018年	平成30年
1938年	昭和13年			2019年	平成31年
1939年	昭和14年				新年号元年